

住民の反対の声を聞け！ オスプレイ嘉手納基地配備反対！

1月9日の報道によると、米政府が嘉手納基地にもCV22オスプレイを10機程度配備する方針であると伝えました。

すでに世界一危険な乗り物＝オスプレイが、世界一危険な普天間飛行場に配備されています。嘉手納基地に配備されると、合計30機以上の配備となり、より強固な戦闘態勢が出来ることとなります。

さらに、大量のオスプレイ配備は、同時に日本全国での訓練飛行の機会を増やすことになり、キャンプ富士（御殿場・裾野・小山）や厚木基地周辺にも危険を及ぼします。

この間、沖縄や岩国などで反対の声相次ぎ、大きな集会なども開催されてきました。それが住民の声なのです。

ハワイではオスプレイ墜落を心配して、飛行訓練を止めています。日本人はモルモットなのでしょうか。日本政府が「責任を持つ」と言おうと、万が一犠牲者が出ても命は戻ってこないのです。

オスプレイ配備に反対しましょう！

沖縄を戦争のための拠点にする気か！

嘉手納にもオスプレイ

10数年以内に 沖縄の反発必至

米政府が2年後をめどに、沖縄県の米空軍嘉手納基地（同県嘉手納町など）に新型輸送機オスプレイの配備を始める方針を固め、日本側に伝達していたことが8日分かった。日米関係が明らかにし



米政府が2年後をめどに、沖縄県の米空軍嘉手納基地（同県嘉手納町など）に新型輸送機オスプレイの配備を始める方針を固め、日本側に伝達していたことが8日分かった。日米関係が明らかにし、同基地所属の空軍特殊部隊向けに、数年かけて10機程度の配備を完了させる計画とみられる。実現すれば、海兵隊の普天間飛行場（同県宜野湾市）で本格運用されている12機を含めた計30機以上が配備されることになり、沖縄はアジア太平洋地域で最大のオスプレイ拠点となる。追加配備が計画されるのは海兵隊仕様

静岡新聞 2013年1月9日

のMV22ではなく、空軍仕様のCV22。嘉手納基地では、担当の米軍関係者の派遣など既に準備が始まっているとみられる。地元感情の悪化を恐れる日本政府は、ハイペースの配備への懸念を米側に伝えているもようだ。普天間では昨年12月から12機のMV22が本格運用されている。今後12機が加わり、今年7月にも24機体制へ移行する予定。CV22は特殊作戦用だが、輸送用のMV22と基本構造はほぼ同じとされる。

(共同)